

五ヶ丘まちづくりニュースレター



第10号



第2回五ヶ丘まちづくりミーティングを開催しました！

2月7日（土）に、「第2回 五ヶ丘まちづくりミーティング」を五ヶ丘東小学校で開催し、102名の方にご参加いただきました。

今回は、昨年開催した「五ヶ丘まちづくりワークショップ（計6回）」で創り上げた『五ヶ丘の将来像』を発表し、今後の五ヶ丘のまちづくりについて意見交換しました。



寺崎会長

あいさつ（五ヶ丘自治区連合会 寺崎会長）

私が五ヶ丘に家を買った当時は若い人たちばかりで、子どももたくさんいて、まちも賑やかだった。40年経って、高齢化、空き家の問題が出てきています。今のうちに何とかしなければいけないのではないかと思います。このまちづくりミーティングのきっかけです。今なら何かできることはあると思うので、皆さんの知恵を借りながら、五ヶ丘を少しでも良くしていきたいと思います。

① 喜劇団 笑劇波による公演

五ヶ丘に住むあかね婆ちゃんたちは、地域住民の交流の減少や医療・買い物・交通の不便さ、災害時の支援不足など、五ヶ丘の課題を語り合いました。

一方で、昨年開催した「五ヶ丘まちづくりワークショップ」では中学生も参加し、イベントの充実や施設のあり方について前向きな意見が出されていたことから、西口組長は「五ヶ丘は人材は豊富」と呼びかけ、「支え合いながら元気なまちをつくらう！」と締めくくりました。

わしら住民が主体となって、まちをつくり上げていこうではないか！



孫のみらの

あかね婆ちゃん

西口組長

② 『五ヶ丘の将来像』発表

- ・ 昨年のワークショップで話し合いを重ねて「五ヶ丘の将来像」をとりまとめました。発表は、ワークショップ参加者の一人である菅野さん（3丁目）にお願いしました。



- ・ キャッチコピーは、『みんなの笑顔が未来をつくるまち・五ヶ丘』です。今の私たちの選択や行動が、子どもたちや次の世代によいまちを残す。これが込めた想いです。
- ・ ワークショップでは、具体的な取組のアイデアもたくさん出ました。
(例：集会所の有効活用、スポーツイベントの開催、カーシェアリングなど)

五ヶ丘の将来像



【キャッチコピー】

みんなの笑顔が未来をつくるまち・五ヶ丘

～みんなの笑顔やつながりが、次の世代へ続くまちをつくりまします。～

【将来像】 = 目指す姿

(1) 多世代が楽しく元気に暮らすまち
(多世代・共生)



ゆるやかな
世代交代

若い世代（子育て世代）が「住みたい」、
子どもも高齢者も元気

(2) 心地よいつながりがあるまち
(つながり・交流)



誰とでも話せる

いい意味での
おせっかい
世話焼き

世代を超えた多世代の会話

(3) ふるさと愛を育むまち
(魅力・誇り)



・ 「五ヶ丘」というブランド
・ ふるさと愛を育む

(4) 安心・安全に暮らすことができるまち
(支え合い・助け合い)



高齢になっても安心、安全でいられる

★中学生に聞きました！
Q. 五ヶ丘一番のお気に入りとは？

1. 自然が豊か
2. 五ヶ丘の祭り・夏祭り
3. 地域の人々がやさしい

～第3回ワークショップ(R7/9/28)より～

(5) 便利に生活できるまち
(便利・暮らし)



買い物・暮らしが便利

③講評 牧野 篤さま（大正大学教授、東京大学名誉教授、五ヶ丘地区まちづくりアドバイザー）

- ・今日はこれだけ多くの皆さんが集まり、「五ヶ丘の将来像」への想いを共有できたのではないかと感じています。
- ・豊田市第9次総合計画では「つながる、つくる、暮らし楽しむまち・とよた」を掲げ、これまでの工業都市のイメージから、“人とのつながりや心の豊かさ”を大切にするまちへ進もうとしています。
- ・これからは行政や企業だけではなく、住民一人ひとりが関わりたいながら、自分たちの手でまちを育てていくことが大切です。五ヶ丘には大きな可能性があります。ぜひとも未来に希望が持てるまちを皆さん自身の手で形にさせていただきたいと思います。



牧野さま

④意見交換

たくさんのご意見が出ました。ここではいくつかを抜粋して紹介します。



【Q1】今後のまちづくりはどう進むのか？

- ・来年度から住民のみなさんが主体となって行動を移す段階に入る。
- ・住民主体の“（仮称）まちづくり協議会”を立ち上げ、五ヶ丘自治区連合会での承認（最終判断）をもらいながら進めていきたい。
- ・市は住民のみなさんへの支援を行う。

【Q2】もっと女性や多世代の方の意見が反映されるとよい。

- ・より多様な世代・性別の方に参加いただけるよう工夫していきたい。

【Q3】まちづくりの期間はどれくらいを目安に考えているのか？

- ・まちづくりに終わりはないが、まず2～3年間で体制づくりと活動が持続できる状態にすることを旨とする。その後は住民主体での自立運営を期待している。高齢化が進むため、今すぐ動く必要がある。

【Q4】浄化センター・運動広場の跡地はどうなる？

- ・現時点では用途は未定だが、来年度以降に地域の意見を踏まえた活用案をまとめていく。地域の意見は上述の（仮称）まちづくり協議会で整理をして、五ヶ丘自治区連合会を通じて市に伝える流れをつくる。
- ・運動広場の地域での暫定的な利用は管理責任の面から考えると基本は不可だが、「地域の合意」と「適正管理の仕組み」が整えば検討する余地はある。

【Q5】まちづくりと小学校統廃合の関係は？

- ・まちづくりは資産経営課と高橋支所、学校再編に関することは教育政策課が市の窓口となる。学校はまちづくりの重要な要素であり、役割分担をしつつも連携をとって進めていく。

～まちづくりミーティングの運営に協力いただいた皆さん！～



当日は五ヶ丘地区住民の皆さまにも運営の協力をいただきました。
大変ありがとうございました！住民主体の活動の始まりです！

⑤令和8年度以降の取組

- まちづくり協議会（仮称）キックオフ会（3月）
メンバー同士の顔合わせ会
- 定期的なミーティングの開催（4月～）
 - ①令和8年度の取組について話し合い
 - ②すぐに取り組める事業の実践
 - ③令和9年度以降の取組について話し合い



閉会あいさつ
(高橋支所 前田支所長)



本日はたくさんの方にご参加いただき大変ありがとうございます！五ヶ丘には優れた“人材と力”があります。皆さんの意見や協力がとても大きな財産となります。来年度からは“議論から実践”に移る段階です。小さなことでも早く取り組んで成果を出すことが大切です。住民の皆さんが主体的に動くことで、市としてもより支援がしやすくなります。まちづくりは「楽しく、時には少し頑張りながら」取り組むものです。3月以降、いっしょにより良い五ヶ丘をつくっていきましょう！

◆まちづくりメンバー大募集中！◆

ぜひ多くの方にまちづくりのメンバーとして活躍していただきたいです。これからの五ヶ丘のまちづくりに少しでも興味や関心があれば、以下の連絡先に気軽にご連絡ください。みんなで楽しみながら、まちづくりをしていきましょう！

